



Liberal & Democratic

vol.028



自由民主党 蒲郡市議団通信

「サーキュラーシティ蒲郡」の実現に向けて

自由民主党蒲郡市議団では、蒲郡市と事業連携の協定を結んでいる株式会社ダイセキの名古屋事業所を訪問いたしました。

株式会社ダイセキは、東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場している企業です。工場などから廃油や廃液、汚泥を回収し、年間24万トン（タンクローリー2万台分）の再生燃料をつくっています。また、廃棄物の回収に、特殊な技術を有していることから、座礁したタンカーから重油を回収した実績もあります。

見学させていただいた名古屋事業所の周囲には民家もありますが、事業所内の脱臭・洗浄を強化している他、モニタリングやパトロールも実施しており、この成果もあって、地域との共生が実現しています。この十数年苦情もないということです。



このたび、蒲郡市が進めるサーキュラーシティ実現のための実証実験として、市内で回収した一般の家庭ごみから、燃料をつくり出す事業に取り組んでいただきました。現在、本格的な事業化に向けて、検討が進められています。

蒲郡市がサーキュラーシティの施策を推進していくためにも、同社の果たす役割は非常に大きいと感じます。今後のさらなる市との協働に期待したいと思います。



おおば やすのり
団長 大場 康議

豊岡町陳ノ山不法開発後の跡地の課題について

三谷町と豊岡町の境に位置する陣ノ山は長年に渡り、約1ha強の農地と市道が違法掘削され現在は雑草がおびただしい状況です。市は市道回復すべく名古屋地裁へ訴えを起こし市道の回復が可能となりました。しかし現況は未だ市道回復がされず、なかの土地に地権者が入ることも草刈りなどの管理もできません。又多くの地権者は土地の固定資産税評価が農地から雑種地になり、税負担が大きくなりました。早急に市道の復旧を行い、地権者が土地管理のできる環境整備が必要であります。なお当該地の今後の利活用については、地元住民や地権者と市が意見交換できる場を設けて頂きたいと思っております。



あおやま よしあき
青山 義明 議長

2年目の議長として

皆様のお蔭をもちまして、今年度も引き続き蒲郡市議会議長を務めさせて頂くこととなりましたのでよろしくお願い申し上げます。昨年度に引き続き議会改革の1つである議員定数の見直しや、ハラスメント研修・質問力アップに向けての議員研修等を行って参ります。また、蒲郡市の財政での要であるボートレース事業におけるビックレース誘致に向け市長と一緒に活動を進めてまいります。本年度も精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



副議長 ^{すずき} ^{まさひろ} 鈴木 将浩

市制70周年を迎えて

令和6年4月1日に蒲郡市は市制70周年を迎えました。「愛し 愛され 蒲郡」をテーマに、さまざまな事業が予定されています。各種記念講演会やコンサートだけでなく、プレミアム付商品券・堤防アート作成・千賀湍大投手野球教室・帆船みらいへ寄港なども行われます。ここまで企画が多いのは70周年だからこそですし、蒲郡市のホームページや広報がまごおり等で、随時お知らせされていますので、ぜひチェックしてみてください。



幹事長 ^{おおすか} ^{はやし} 大須賀 林 経済委員会委員長

豊岡大塚線の凍結解除に向けて

本路線は平成17年度までに、18億円の事業費をかけて延長3kmのうち西側650mが完成したところで事業凍結された。18年が経過した今、買収用地では雑木が伸び放題となっている。大塚と蒲郡を結ぶ国道23号、247号は十能交差点で交わり日常的に渋滞が発生している。今後来るであろう南海トラフ大地震を考えると、海に近い海拔3m程の両路線は不安がある。県事業として今年度より大塚金野線が建設に向け動いているが、完了まで10年はかかるとも聞かえてくる。市はその完了を待つだけでなく、同時進行的に進めていただきたい。凍結の一因であったポートレースからの繰入金金が当時と比べ近年は安定して100億円以上となっている。この状況を見ると凍結を解除し事業再開の時期に来ているのではないかと考える。



政調会長・副幹事長 ^{ふじた} ^{ひろき} 藤田 裕喜 総務委員会委員長

フリースクールへの支援について

不登校の数は増加傾向にあり、最新の文部科学省の調査では、全国で30万人近くにも上ります。そんな不登校の子どもたちの居場所のひとつとなっているのが、フリースクールです。しかし、フリースクールに通うためには多額の費用がかかります。調査によると、経済的な支援を求める保護者は7割に及びます。そこで、フリースクールに子どもを通わせている世帯や、運営している団体等へ、補助金を出すことを提案いたしました。すでに田原市や大府市でも事例があります。蒲郡市でも実現するよう引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



中野 香余 総務委員会副委員長 ^{なかの} ^{かよ}

人に優しいまちづくりとは

本年度、総務副委員長に就任いたしました。一層身を引き締めて、議員の本分を全うして参る所存でございます。所管の視察で、3月に運用開始された「消防署西部出張所」に伺いました。以前よりも広く、訓練棟もあり、ポンプ車・救急車は各2台配置されています。また、玄関横にはだれでも使える多目的トイレが設置され、皆様の安全安心を守ることは勿論ですが、身近な施設になることを目指しており、人に優しいまちづくりの一環であると嬉しく思いました。



国道23号バイパス特別委員会 ^{あしかり} ^{じゅんな} 副委員長 芦刈 純奈

夏休みの子どもの居場所

園や学校が夏休みに入り子どもたちにとってはワクワクな日々ですが、親にとっては今日は何をしようかと悩む日々になっていませんか？市内7ヶ所の子ども食堂、公民館主催の教室、シルバー寺子屋夏休み教室などボランティアや各団体の皆さんが色々考えて活動してくれています。また、保育園一時預かりやファミリーサポートセンター事業など市の子育て支援もあります。色んな支援を利用し、子どもと一緒に楽しい夏の思い出を作りましょう！



千賀 充能 ^{せんが} ^{みつよし}

ウェルビーイングなまちづくり

誰もが、いつまでも元気でいたいものです。地域包括ケアで自助・互助・共助・公助の理念を理解し、地域での支え合いを強化することによって、高齢者同士や家族、近隣住民が助け合える仕組みを構築していくことが重要だと思います。高齢者が自分でできることをサポートし、健康的な生活を維持できるようにしていかなければなりません。しかし、要支援・要介護認定者となってしまうと、介護者への支援が不可欠です。高齢者やその家族が安心して生活できるように、しっかりとサポートのできるまちを目指してゆきたいと思ひます。



八田 寿人 ^{はった} ^{ひさと}

適切なおみ分別の重要性とその影響

5月に2か所のおみの処分場を見学させていただきました。どちらの事業所でも蒲郡市ではおみの分別が不十分であると指摘されました。おみの分別が不十分であることは、資源の無駄遣い、環境汚染、コスト増加、さらには公共施設の損壊など、様々な問題を招きます。分別ルールを理解し、正しく分別を行うことは、私たち一人ひとりの責任であり、分別を徹底することで、私たちの環境と未来を守ることができるのです。

「議員→行政」蒲郡の課題を質問！

▶ 6月定例会 一般質問YouTube



- 大場 康議 『陣ノ山不法開発後の跡地、リーディングプロジェクトについて』
- 藤田 裕喜 『足の健康と学校での靴の指定、フリースクールへの支援、第三者委員会について』
- 大須賀 林 『県道の雑草対策、豊岡大塚線について』
- 中野 香余 『庁舎環境、手をつなぐ登園について』
- 八田 寿人 『平時・災害時の情報発信と情報伝達手段について』
- 千賀 充能 『インバウンド、車両管理、2025年問題、高齢化、専門職の人事について』
- 芦刈 純奈 『子どもの居場所、保育・福祉の人材確保について』

※青山義明議員、鈴木将浩議員は議長・副議長のため一般質問なし

7月臨時議会が開催されました

入札の不調により延期となっていた、西浦地区および塩津地区における学校複合施設の建設工事ですが、臨時議会を開催し、追加の補正予算を議決いたしました。今後、再度入札が進められていくこととなりますが、事業がスムーズに進捗することを期待したいと思います。

